

## D テストの実施とその成績

### 第1 テストの目的と実施の方法

漢字学習指導研究会は、学習漢字学年別配当試案のもつ妥当性の範囲および程度を測定するために、それを実地の学習指導に適用した結果をテストして資料を得ようとした。したがって、テストは終末テストを主としたが、未習字の成績をさぐるために事前テストをも行った。ただし、昭和27年度のテストは、昭和28年度のテストの方法内容を準備する意味で施行したものである。

施行の時期は、初年度の前テストは、昭和27年の9月、終末テストは28年の1月とした。これは、初年度の実験指導が、9月に開始され、12月で終るように計画されたからである。次年度は、昭和28年の4月に前テストを行い、29年の2月に終末テストを行った。終末テストを3月にしなかったのは、23年度の結果の概略が、おそくとも29年度の初めまでにわかっていることが、29年度の事業計画をたてるのにつごうがよいと考えたからである。

テストは、27年度の前テスト以外は、各学年の全部の児童に対して、その学年の配当字の全部について、読み書きともに施行した。27年度の前テストだけは、各学年の配当字のうちから、1年20字、2年40字、3年～6年50字ずつをアトランダムに選び、これを昭和25年に文部省初等中等教育局で実施した書きのテストのそれぞれの学年での成績順に並べ、交互にその学年の読みのテスト字と書きのテスト字とにより分けた。テストの際に各字に与えた読み方は、各検定国語教科書に比較的多く用いられているものとし

た。また、両年度とも、事前テストと終末テストとでは、各字の読み方を等しくなるようにした。

問題の印刷は縦書きとし、読みの場合には漢字のかたわらのかゝこのなかにひらがなで書き入れさせ、書きの場合には四角のなかに漢字を書きこませる形式をとった。

出題の例    読みの場合    ( )  
                        書きの場合    □ をよむ。

初年度の事前テストの問題は、最初から漢字学習指導研究会で作った。しかし、同じ年度の終末テストの問題は、各学年2名ずつの実験指導担当者の意見を折衷して作成した。次年度の本調査では、事前テストの問題は、前年度準備調査の終末テストの問題の不適當な部分を多少修正したものを施行した。終末テストの問題は、さらにこの事前テストの問題に多少修正を施したものを施行した。テスト問題は下記のとおりである。この印刷は、便宜横組みとしたが、問題は西洋紙に縦で印刷した。

### 【昭和27年度事前テスト問題】

#### (1A)

( )のなかによみかたをかなで書いてください。

( )      ( )                      ( ) ( )      ( )  
お月さま。山のほり。やねの下。三にん。八にん。

( ) ( ) ( )                      ( )      ( )  
口。水。目。あさの九じ。お正がつ。

#### (1B)

□のなかにかんじを書いてください。

□ <sup>ち</sup>さい。□ <sup>い</sup>ねんせい。うちの □ <sup>な</sup>。□ <sup>ひ</sup>がもえている。

□ <sup>しろ</sup>いひげ。□ <sup>ほん</sup>をよむ。□ <sup>ひだり</sup>のほう。□ <sup>く</sup>ばん。□ <sup>しち</sup>ばん。てと □ <sup>おし</sup>。

(2A)

( )のなかによみかたをかなで書いてください。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
学校。十五分。多い。夏。夕がた。犬。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
年をとったひと。力。天きがよい。田んぼ。地めん。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
竹。出る。来ました。むかしと今。作文。

( ) ( ) ( ) ( )  
考えている。母。心。

(2B)

□のなかにかんじを書いてください。

げんき よく □ をあけました。

くろ い □ を □ してください。

こゑ □ をだしてほんを □ む。

うし □ のようなかたちをした □。

せん □ えんさつ。 にっぽんの □。

もう □ になりました。

し □ らない □ のこが □ か □ ています。

はたけの □。

こっちの □ によい □ があります。

(3A)

( )のなかによみかたをかなで書いてください。

いち ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
一里。遠く。古いお寺。深い。自由。研究する。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
太い柱。短い指。木の根。銀の星。

( ) ( ) ( )  
注意する。はなが散る。実がなる。

( ) ( ) ( )  
苦しそうな顔で返事をしました。

( ) ( )  
教室まで持ってきてください。

( ) ( ) ( )  
電車にのってお客さまを送っていきました。

(3B)

□ のなかに かんじを かいて ください。

□ を □ くしたり □ くしたりする。

□ い □ もつを □ っぱりあげました。

午 □ , 野 □ をしました。

□ のなかに □ 場がたちました。

あすは □ です。 □ 心 しました。

□ の □ 。 三 □ め。

□ しい □ 。 □ しい野 □ 。

□ りもの。 □ もの。 □ のうえ。 □ 界 で一 □ 。

(4A)

( ) のなかに よみかたを かなで かいて ください。

( ) ( ) ( ) ( )  
次の週には、童話や詩をつくろう。

( ) ( ) ( ) ( )  
太陽の位置。 観察する係。

( ) ( ) ( ) ( )  
平和な時代。 目的と計画。

( ) ( )  
順に飛んでいきました。

( ) ( ) <sup>ざよう</sup>  
十五才で卒業しました。

( ) <sup>ぶつ</sup> ( ) ( ) <sup>ない</sup>  
植物園に案内した。

でん ( ) ( )  
電報がうてない不べんなところ。

( ) <sup>さん</sup> ( )  
約三メートル低い。

( ) ( ) <sup>か</sup>  
鼻。 唱歌。

(4B)

のなかに かんじを かいて ください。

し <sup>けん</sup> <sup>と</sup> <sup>かん</sup> が, <sup>かわ</sup> <sup>よ</sup> <sup>てい</sup>  
 験の時間が,  る予  です。

<sup>かい</sup>  
 ひろいで一  になりました。

それを <sup>くわ</sup>  えると, 二  になります。

<sup>ふい</sup> <sup>ふ</sup> が <sup>ふね</sup>  
水  が 船のうえではたらいっている。

とり <sup>かこ</sup>  まれて,  うごきができない。

<sup>はな</sup> <sup>そだ</sup> <sup>なよう</sup>  
花を  てました。  同募金。

<sup>さん</sup> <sup>すう</sup> <sup>ちよう</sup> <sup>まが</sup>  
算  のれんしゅう  。  る。

<sup>けう</sup> <sup>ま</sup> <sup>こく</sup> <sup>みん</sup> <sup>しつ</sup> <sup>ちん</sup>  
 気のある国  。 質  。

<sup>てい</sup> <sup>でん</sup> <sup>でん</sup> <sup>しん</sup> <sup>はし</sup> <sup>き</sup> <sup>きよう</sup> <sup>そら</sup>  
 電。 電  ばしら。 早起き  。

<sup>びよう</sup> <sup>いん</sup> <sup>こおり</sup> <sup>びやく</sup>  
病  。  や。 ピアノの  。

(5A)

( ) のなかに よみかたを かなで かいて ください。

( ) <sup>せん</sup> <sup>じよ</sup> ( ) <sup>し</sup> ( ) <sup>し</sup> ( ) <sup>ごう</sup> ( ) ( ) <sup>び</sup> ( ) <sup>どう</sup>  
造船所。技師の資格。校舎の設備。講堂。

参( )考( )書( )の定( )価( )。想( )像( )。正( )確( )。健( )康( )を( )増( )す。

成( )功( )。責( )任( )を( )も( )っ( )て( )導( )く。板( )を( )張( )る。

( )例( )を( )あ( )げ( )る。一( )昨( )日( )の( )学( )芸( )会( )。お( )宮( )。

( )この( )辺( )から( )富( )土( )山( )が( )み( )え( )る。

( )善( )と( )悪( )。往( )来( )。余( )っ( )て( )い( )る。

(5B)

□のなかにかんじをかいてください。

きょう□り、この停□所はなくなります。

□本にあまり近□ってはいけません。

事□がおこる。□験がふかい。

□地の□業の□史。□在。反□する。

感□する。右□をあるく規□。

投□する□□。□質。それを□用する。

さいばん□。□養がある。ご□をたべる。

北□星。一□円の建□費。

(6A)

( )のなかによみかたをかなでかいてください。

( )需( )要( )と( )供( )給( )。総( )収( )入( )。清( )潔( )な( )衣( )類( )。

( )検( )査( )す( )る。能( )率( )の( )よ( )い( )経( )営( )を( )勧( )め( )る。諸( )国( )。

成( )績( )。胃( )ぶ( )く( )ろ。罪( )を( )お( )か( )す。植( )物( )の( )名( )称( )。

( ) ( ) ( ) 私製 はがき。 ( ) 補給 する。

( ) 略 している。 ( ) 動詞。 ( ) 拝見。 ( ) 印象。

( ) 是非 を 論ずる。

(6B)

□ のなかに かんじを かいて ください。

政 □ 政治。 法 □ の 解 □。 □ □ 陸 下。

友 だ ち を □ く。 家 の □ 造。 □ 生 的 な へ や。

□ 迎 の ことば を □ べ る。 □ 真 で □ 実 な ひ と。

□ 教。 事 □ の た め に □ 雑 する。 お じ さ ん の □ 産。

電 車 □。 現 在 と □ 来。 山 本 三 郎 □。 □ 時 ニ ュ ー ス。

酸 □。 □ 利。 □ 害。 □ ける。 戦 □。

【昭和27年度終末テスト問題】

(1年 よみ)

( ) のなかに よみかたを かなで かいて ください。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
右 の 手。 左 の 足。 口 の 中。 白 い ひ げ。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
火 の よ う じ ん。 一。 二。 三。 四。 五。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
六。 七。 八。 九。 十。 お 月 さ ま。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
目 と 耳。 赤 い 花。 さ く ら の 木 の 下。 山 の 上。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
本 を よ む。 人 が 立 っ て い ま す。 大 き な 川。

( ) ( ) ( ) ( )  
青いうみ。 水をのむ。 先生。 日ようび。

( ) ( ) ( )  
お正がつ。 小さい子ども。

(1年 かき)

□のなかに かんじを かいて ください。

<sup>みぞ</sup> □ の <sup>て</sup> □。 <sup>ひざり</sup> □ の <sup>あし</sup> □。 <sup>くち</sup> □ の <sup>なか</sup> □。 <sup>しろ</sup> □ いひげ。

<sup>ひ</sup> □ のようじん。 <sup>いち</sup> □。 <sup>に</sup> □。 <sup>さん</sup> □。 <sup>し</sup> □。 <sup>こ</sup> □。

<sup>ろく</sup> □。 <sup>しち</sup> □。 <sup>はち</sup> □。 <sup>く</sup> □。 <sup>じゅう</sup> □。 お <sup>つき</sup> □ さま。 □ と <sup>め</sup> □ と <sup>みみ</sup> □。

<sup>まか</sup> □ い <sup>はな</sup> □。 さくらの <sup>き</sup> □ の <sup>した</sup> □。 <sup>やま</sup> □ の <sup>うえ</sup> □。 □ をよむ。

<sup>ひと</sup> □ が <sup>た</sup> □ っています。 <sup>おお</sup> □ きな <sup>かわ</sup> □。 <sup>おほ</sup> □ いうみ。

<sup>みず</sup> □ をのむ。 <sup>せん</sup> □ <sup>せい</sup> □。 <sup>にち</sup> □ ようび。 お <sup>しょう</sup> □ がつ。

<sup>ちい</sup> □ さい <sup>こ</sup> □ ども。

(2年 よみ)

( ) のなかに よみかたを かなで かいて ください。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
雲が少し出て来ました。風がふくと波が高くなる。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
森や林で鳥がなく。草のなかで虫の音がする。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
心に思ったことや考えたことを、お話をするように書

( )  
けば、よい作文ができます。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
汽車にのって知らない所へ行ってみたい。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
南の国。 天と地。 東。 北。 町や村。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
父と母。 雨や雪。 男と女。



( ) ( ) ( ) ( )  
 お米や麦を入れるもの。 百時間。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 紙を半分にきる。 長い糸。 友だちの名まえ。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 わたくしたちの組。 玉てばこ。 いろいろ用が多く

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 ていそがしい。 今から千年も前のことです。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 道の両がわ。 力を合わせる。 田んぼの黒い土。

( ) ( ) ( ) ( )  
 うんどう会。 池のなかに何がいますか。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 海へ向かって石をなげた。 毎朝、早くおきる。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 夜おそくまではたらく。 谷まの方から竹を切る音

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 がしました。 西の空が金色に光って見えました。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 字がよく読める。 元気に歩く。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 夕がた門の戸をしめました。 春。 夏休み。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 秋。 冬。 犬。 牛。 馬が走る。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 学校の近く。 家の外がわ。

(2年 かき)

□のなかに かんじを かいて ください。

<sup>くも</sup> □ が <sup>すこ</sup> □ し <sup>で</sup> □ て <sup>き</sup> □ ました。 <sup>たま</sup> □ てばこ。

<sup>かほ</sup> □ がふくと <sup>なみ</sup> □ が <sup>たか</sup> □ くなる。 <sup>ひやく</sup> □ □ <sup>し</sup> □ <sup>かん</sup> □。

<sup>もり</sup> □ や <sup>はせし</sup> □ で <sup>とり</sup> □ がなく。 <sup>かん</sup> □ を <sup>ほん</sup> □ □ <sup>ふん</sup> にきる。

<sup>くさ</sup> □ のなかで <sup>おし</sup> □ の <sup>こえ</sup> □ がする。 <sup>あち</sup> □ と <sup>いは</sup> □。

□<sup>ところ</sup>に□<sup>おあ</sup>ったことや□<sup>かゝ</sup>えたことを、お□<sup>はなし</sup>をするように□<sup>か</sup>  
 けば、よい□<sup>さくぶん</sup>□<sup>ぶん</sup>ができます。  
 □<sup>き</sup>□<sup>しゃ</sup>にのって□<sup>し</sup>らない□<sup>ところ</sup>へ□<sup>い</sup>ってみたい。  
 □<sup>がっ</sup>□<sup>ころ</sup>の□<sup>まか</sup>く。□<sup>いえ</sup>の□<sup>もと</sup>がわ。  
 お□<sup>こび</sup>や□<sup>むぎ</sup>を□<sup>い</sup>れるもの。わたくしたちの□<sup>くみ</sup>。  
 いろいろ□<sup>よう</sup>が□<sup>おち</sup>くていそがしい。□<sup>とち</sup>だちの□<sup>な</sup>まえ。  
 □<sup>みなみ</sup>の□<sup>くに</sup>。□<sup>てん</sup>と□<sup>ち</sup>。□<sup>ゆき</sup>や□<sup>あめ</sup>。□<sup>おとこ</sup>と□<sup>おんな</sup>。  
 □<sup>いま</sup>から□<sup>せん</sup>□<sup>ねん</sup>も□<sup>まえ</sup>のことです。□<sup>みち</sup>の□<sup>りよう</sup>がわ。  
 □<sup>ちから</sup>を□<sup>あわ</sup>せる。□<sup>ひがし</sup>。□<sup>きた</sup>。□<sup>た</sup>んぼの□<sup>くろ</sup>い□<sup>つち</sup>。  
 うんどう□<sup>かい</sup>。□<sup>いけ</sup>のなかに□<sup>なに</sup>がいますか。  
 □<sup>ばん</sup>□<sup>き</sup>に□<sup>ある</sup>く。□<sup>ちみ</sup>へ□<sup>む</sup>かって□<sup>いし</sup>をなげた。□<sup>あき</sup>。  
 □<sup>ふゆ</sup>。□<sup>まい</sup>□<sup>あき</sup>、□<sup>はる</sup>くおきる。□<sup>よる</sup>おそくまではたらく。  
 □<sup>たに</sup>まの□<sup>ぼろ</sup>から□<sup>たけ</sup>を□<sup>き</sup>る□<sup>おと</sup>がしました。□<sup>うま</sup>が□<sup>はし</sup>る。  
 □<sup>いぬ</sup>。□<sup>うし</sup>。□<sup>にし</sup>の□<sup>もろ</sup>が□<sup>まん</sup>□<sup>いろ</sup>に□<sup>ひか</sup>って□<sup>み</sup>えました。  
 □<sup>と</sup>がよく□<sup>よ</sup>める。□<sup>はる</sup>。□<sup>なつ</sup>□<sup>やす</sup>み。□<sup>なが</sup>い□<sup>いと</sup>。  
 □<sup>ゆら</sup>がた□<sup>ちん</sup>の□<sup>と</sup>をしめました。□<sup>まち</sup>や□<sup>むら</sup>。

(3年 よみ)

( )のなかによみかたをかなでかいてください。

いち( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 一里。 古いお寺。 自由。 研究。 鉄。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 太い柱。 短い指。 木の根。 草の芽。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 銀の星。 注意。 散る。 実がなる。 苦しい。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 返事。 黒板。 教室。 持つ。 妹。 お客。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 送る。 坂。 弱い。 息を強くする。 重い。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 荷もつ。 平気。 引く。 三回め。 午後。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 庭。 野球。 遊ぶ。 広い畑。 工作。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 日曜日。 晴。 安心。 感心。 心配。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 弟。 病気。 始まる。 楽しい歌。 美しい原。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 売る。 品。 買う。 三角。 台。 世界。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 深い。 決して。 悪い。 石炭。 駅。 運ぶ。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 千円。 王様。 橋。 流れる。 図画。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 人形。 絵。 開く。 寒い。 起きる。 海岸。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 岩。 兄。 顔。 喜ぶ。 日記。 暗い。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 急ぐ。 帰る。 級。 文庫。 去年。 とび魚。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 写生。 遠く。 東京。 うお市場。 国語。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 勉強。 黄色。 着ている。 死ぬ。 役。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 動物。 者。 お茶屋。 お店。 主人。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 神さま。 お礼。 申す。 月の都。 集まる。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 住む。 勝つ。 負ける。 肉。 食べる。 乗る。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 船。 進む。 島。 地面。 落ちる。 葉。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 毛。 皮。 親。 同じ。 新聞。 列。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 待つ。 そうじ当番。 終る。 だい一号。 昼。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 明かるい。 発電所。 横。 細い。 道路。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 刀。 拾う。 使う。 鳴く。 別。 通る。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 旅。 答。 表紙。 助ける。 頭。 首。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 追う。 受け取る。 陸。 三度。 投げる。

(3年 かき)

□ のなかに かんじを かいて ください。

いち □ ほどいくと □ いお □ があります。

□ □ に □ □ する。 □ でつくった □ い □。

□ い □。 木の □ や 草の □。 □ の □。

□ □ する。 花が □ り, □ がる。

□ し そうな こえで □ □ を しました。 黒 □。 □ □。

かばんを □ ってくる。 □。 お □ さまを □ って, □ み

ちの ところまで いく。 □-を □ くしたり □ くしたりする。

□ い □ もつを □ 気で □ っぱりあげました。 三 □ め。

□ □, □ で □ □ をして □ びました。 □ い □。

□ 作の 時間。 にち □ び。 あしたは □ です。

□ 心する。 □ 心する。 心 □ する。 □ の □ 気。

たの しい □。 うた ちつく しい 草 □。 う だ 出しが □ まると、  
しな ものを □ か ひと 人が おおくなる。 さん かく ほうしの とけい □。  
せ かい でいちばん □ ふか ところ。

あの 子は □ して □ い子では ありません。

石 □ を □ まで □ ぶ。 千 □ さつ。 □ □。

はし の うえから 川 の □ れを みる。 □ □ のじかん。

人 □ の □。 おはなし 会を □ きます。

□ いあさでも はやく □ きましょう。 海 □ の □。

□ は、わたくしの □ をみて □ びました。 目 □ をつける。

□ くなならないうちに □ いで □ りましょう。 学 □ 文 □。

□ 年は、□ つりや □ 生に、ずいぶん □ くまで いった。

東 □ の うお □ □。 国 □ の □ きょう。

□ 色な きものを □ ているひと。 □ んでも □ になつ □ □。

あわて □。 お □ □。 □ の □ 人。

□ さまにお □ を □ しあげる。

た くさんの ひとが □ に □ まって □ んでいる。

きょうそうに □ ったり □ けたりする。 □ を □ べる。

わたくしたちの □ った □ が □ むにつれて、□ が みえてき  
ました。 地 □ に □ ちた 木の □。 ひつじの □。

うしの □。 □ 子。 □ じ □ □ をよむ。

□ をつくって □ つ。 そうじ □ □ が □ る。

□ □ をつける。 □ まは □ かるい。

□ □ 所 の □ の □ い道 □。 □。

そんなものは、□ っても □ えない。 うぐいすが □ く。

□ のみちを □ って □ をつづけました。

□ は、□ 紙のうしろにかいてあります。

うらしまたろうの □ けたかめ。 □ と □。

うしろから □ いかけてくる。 たまてばこを □ け □ って、

□ へもどりました。 三 □ もボールを □ げました。

(4年 読み)

( ) のなかによみかたを かなで かいて ください。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
公園。 植物。 観察。 建てる。 この次。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
放送局。 案内。 望遠鏡。 材料。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
苦労する。 働く。 速力。 計算。 意味。

( ) ( ) ( ) ( )  
農夫。 野菜。 清らか。 緑色。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
勢いよく飛ぶ。 食堂。 食器。 鼻。 血。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
止まる。 国民。 共同。 守る。 図書館。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
二階。 姉。 家族。 加える。 二倍。 貝。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
付く。 調べる。 昭和二十八年の末。 十一才。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
体重。 お願い。 言う。 山田君は交通整理

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
の係です。 打ち固める。 成人の日。

文化の日。改良。便利。自転車。石油。

綿。積む。貨物。機関士。静かに航海

する。九州。みやざき県。老人。連れていく。

愛する。孫。幸福。育てる。生活。目的。

十秒。以上。約二丁。折れる。有名。

病院。仕事。歯医者。一等賞。

無線電信。機械。停電。防ぐ。方法。

悲しい。文章。命令。商売。道具。

身うごき。輪。曲げる。時代。十五銭。

一万円。リーグ戦。試合。出席。予定。

報告。不必要。楽隊。電燈の熱。

冷たい。氷。囲む。温度。低い。太陽。

照る。焼く。暑い。続く。全部。生徒。

点数。順に泳ぐ。英語の詩。最初。

一週間。覚える。正直。勇気。粉ぐすり。

お湯。飲む。借りる。唱歌。帳面。港。

風景。写真。湖の底。色が変わる。伝説。

( )<sup>わ</sup> 童話。 ( ) 失う。 ( )<sup>りよく</sup> 努力する。 ( ) 位置。 ( ) 移す。  
 ( ) ( ) ( ) ( )<sup>がっ</sup> 第二学期。 ( )<sup>き</sup> 気候。 ( ) 季節。  
 ( ) その他のこと。 ( ) 残念。 ( ) 反対。 ( )<sup>やま</sup> 山登り。  
 ( ) 練習。 ( )<sup>へいち</sup> 害虫の群れ。 ( ) 現われる。 ( ) 消える。  
 ( )<sup>と</sup> 旗取り競争。 ( ) お祭。 ( )<sup>しゆ</sup> 編集。 ( ) 印刷。 ( ) 委員。  
 ( ) 選挙。 ( ) 相談。 ( ) 卒業式。 ( ) 種類。 ( ) 問題。  
 ( )<sup>はっ</sup> 発達。 ( )<sup>じ</sup> 自治会。 ( ) 洋服。 ( )<sup>かい</sup> 社会科。

(4年 書き)

□ のなかに かんじを かいて ください。

□□ のなかの □ 物を □□ する。 家 □ を □ てる。

この □ には □ 送 □ へ □□ しましょう。

□ 遠 □ をつくる □□。 苦 □ する。 □ く。

□ 力を □□ する。 意 □ がわかる。

□□ が 野 □ をつくる。 □ らかな □ いろ。

□ によく □ ぶ。 食 □ の 食 □ だな。

□ から □ が出たが、すぐに □ まった。 国 □ 。

□ 同する。 きそくを □ する。 図書 □ の 二 □ 。

□ の 家 □ 。 それを □ えると、ちょうど二 □ になる。

□ がらの □ いた岩。 □ べる。

ぼくは □□ 二十八年の □ に、十一 □ になる。



□重をはかる。お□い。お礼を□う。

山田□は□通□□の□です。□ち□める。

□人の日。文□の日。□□した□□な自□車。

石□と□とを□んだ□物船のき□□。

□かに□海する。九□のみやざき□。□人。

いぬを□れていく。□する□を□□に□てる。

生□。目□。十□□上かかる。

□二□いって、みぎへ□れると、□名な病□がある。

□事。□□者さん。一□賞。

□□電□の□□。□電を□ぐ方□。

□しい文□。□□する。□売道□。

□うごきができない。□のように□げる。少年時□。

十五□。一□円。リーグ□の□谷。

出□する□□です。□□することは□□□です。

楽□。電□の□。□たい□で□む。

□度が□い。太□が□る。

□けつくように□い日が□く。□□の生□の□□。

□に□いでいく。□語の□。□□の□□間。

□える。正□で□気があるひと。

□ぐずりをお□で□む。□りた□歌の□面。

□の風□を写□にとる。□の□。色が□る。

□□。□話。□う。□方する。□□を□す。

□<sup>ま</sup>み<sup>を</sup>□<sup>く</sup>□<sup>ぶ</sup>。

□<sup>だ</sup>二<sup>が</sup>学<sup>き</sup>□<sup>は</sup>気<sup>は</sup>□<sup>の</sup>よ<sup>い</sup>□□<sup>に</sup>あ<sup>ら</sup>た<sup>る</sup>。

その□<sup>だ</sup>の<sup>こ</sup>と<sup>に</sup>つ<sup>い</sup>て<sup>は</sup>、□□<sup>だ</sup>ん<sup>が</sup>ら□□<sup>は</sup>な<sup>い</sup>です。

山□<sup>の</sup>り<sup>の</sup>□□<sup>。</sup> □<sup>が</sup>虫<sup>の</sup>□<sup>れ</sup>。

□<sup>わ</sup>れ<sup>て</sup>は、ま<sup>た</sup>□<sup>え</sup>る。 □<sup>は</sup>取<sup>り</sup>□□<sup>。</sup> お□<sup>。</sup>

□<sup>へ</sup>集<sup>し</sup>て□□<sup>す</sup>る。 わ<sup>た</sup>く<sup>し</sup>た<sup>ち</sup>の<sup>く</sup>み<sup>の</sup>組<sup>の</sup>□□<sup>。</sup>

□□<sup>。</sup> □□<sup>す</sup>る。 □□□<sup>。</sup> □□<sup>。</sup> □□<sup>。</sup> 発<sup>つ</sup>□<sup>。</sup>

自<sup>じ</sup>□<sup>の</sup>会<sup>かい</sup>。 □□<sup>。</sup> □<sup>の</sup>会<sup>かい</sup>□<sup>。</sup>

(5年 読み)

( )のなかによみかたをかなで書いてください。

- ( )<sup>り</sup>よ<sup>く</sup> 圧<sup>あ</sup>力<sup>り</sup>。 ( )<sup>げん</sup> 原<sup>げん</sup>因<sup>いん</sup>。 ( )<sup>けつ</sup> 結<sup>けつ</sup>果<sup>くわ</sup>。 ( )<sup>えい</sup> 永<sup>えい</sup>久<sup>く</sup>。 ( )<sup>しほ</sup> 塩<sup>しほ</sup>。
- ( )<sup>こう</sup> 講<sup>こう</sup>堂<sup>どう</sup>。 ( )<sup>げん</sup> 演<sup>げん</sup>芸<sup>ぎ</sup>。 ( )<sup>かい</sup> 司<sup>かい</sup>会<sup>かい</sup>。 ( )<sup>ちゅう</sup> 中<sup>ちゅう</sup>央<sup>おう</sup>。 ( )<sup>しゅ</sup> 応<sup>しゅ</sup>接<sup>じつ</sup>室<sup>しつ</sup>。
- ( )<sup>わい</sup> 往<sup>わい</sup>復<sup>ふく</sup>。 ( )<sup>りょう</sup> 費<sup>りょう</sup>用<sup>よう</sup>。 ( )<sup>いっ</sup> 一<sup>いっ</sup>億<sup>いふ</sup>。 ( )<sup>じん</sup> 恩<sup>じん</sup>人<sup>にん</sup>。 ( )<sup>えん</sup> 運<sup>えん</sup>河<sup>が</sup>。
- ( )<sup>しつ</sup> 失<sup>しつ</sup>敗<sup>ぱい</sup>。 ( )<sup>し</sup> 雑<sup>し</sup>誌<sup>し</sup>。 ( )<sup>てい</sup> 定<sup>てい</sup>価<sup>か</sup>。 ( )<sup>ほう</sup> 放<sup>ほう</sup>課<sup>か</sup>後<sup>ご</sup>。 ( )<sup>し</sup> 自<sup>し</sup>然<sup>ぜん</sup>。
- ( )<sup>り</sup> 理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>。 ( )<sup>た</sup> 快<sup>た</sup>い。 ( )<sup>ち</sup> 承<sup>ち</sup>知<sup>ち</sup>。 ( )<sup>せい</sup> 正<sup>せい</sup>確<sup>かく</sup>。 ( )<sup>ち</sup> 知<sup>ち</sup>識<sup>し</sup>。 ( )<sup>じゆつ</sup> 術<sup>じゆつ</sup>。
- ( )<sup>か</sup> 限<sup>か</sup>る。 ( )<sup>し</sup> 漢<sup>し</sup>字<sup>じ</sup>。 ( )<sup>し</sup> 試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>。 ( )<sup>さい</sup> さい<sup>ばん</sup>官<sup>くわん</sup>。 ( )<sup>はん</sup> 判<sup>はん</sup>断<sup>だん</sup>。
- ( )<sup>めい</sup> 迷<sup>めい</sup>う。 ( )<sup>せい</sup> 政<sup>せい</sup>府<sup>ふ</sup>。 ( )<sup>だい</sup> 大<sup>だい</sup>臣<sup>しん</sup>。 ( )<sup>てつ</sup> 鉄<sup>てつ</sup>管<sup>くわん</sup>。 ( )<sup>きぼう</sup> 希<sup>き</sup>望<sup>ぼう</sup>。
- ( )<sup>ちか</sup> 近<sup>ちか</sup>寄<sup>ぎ</sup>る。 ( )<sup>がく</sup> 校<sup>がく</sup>舎<sup>しゃ</sup>。 ( )<sup>けん</sup> 建<sup>けん</sup>築<sup>じく</sup>。 ( )<sup>た</sup> 討<sup>た</sup>論<sup>ろん</sup>。 ( )<sup>きぎ</sup> 規<sup>き</sup>則<sup>そく</sup>。
- ( )<sup>やぶ</sup> 破<sup>やぶ</sup>る。 ( )<sup>じゅう</sup> 住<sup>じゅう</sup>居<sup>く</sup>。 ( )<sup>かい</sup> 会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>。 ( )<sup>せき</sup> 欠<sup>せき</sup>席<sup>せき</sup>。 ( )<sup>ぎょ</sup> 漁<sup>ぎょ</sup>業<sup>ぎょう</sup>。 ( )<sup>すけ</sup> 救<sup>すけ</sup>い。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
求める。 区別。 許す。 主義。 協力する。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
完成。 興味。 示す。 北極。 神経。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
平均。 はい句。 大型。 尊敬。 筆。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
事件。 健康。 看護婦。 資格。 厚い。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
織物。 製造。 成功。 実際。 昨年。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
現在。 過去。 毒。 殺す。 賛成。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
発展する。 参考書。 歴史。 祝い。 感謝。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
似た性質。 お酒。 倉庫。 賞。 授ける。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
牧場。 周用。 状態。 修理。 祖先。 従う。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
準備。 責任。 導く。 順序。 反省。 独立。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
精神。 貧しい。 同情。 浅い。 単に。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
改善。 想像。 貯金。 増す。 向こう側。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
測量技師。 設計図。 適当。 銅。 燃料。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
特に。 得意。 博物館。 団体。 肥料。 ご飯。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
例。 米俵。 投票。 副大統領。 標本。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
薬屋。 評判。 満足。 武器。 敵。 兵士。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
保つ。 山脈。 事務。 海水浴。 余る。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 栄養。 内容。 非常に。 豊富。 留学。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 輸入。 記録。 この辺。 宿屋。 各地。 産物。  
 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
 比べる。 張る。 お宮。 毛布。 帯。 退く。  
 ( )  
 志願。

(5年 書き)

□のなかに かんじを かいて ください。

空気の □ 力。 原 □ と 結 □。 □ □ に わすれない。  
 □ 水。 □ 堂で □ □ 会 がある。 □ 会者。 中 □。  
 □ □ 望。 □ □ の □ 用。 一 □ 年。 □ 人。 運 □。  
 失 □。 □ 誌の定 □。 放 □ 後。 自 □。 理 □ する。  
 □ く □ 知してくれた。 正 □ な 知 □。 手 □ する。  
 □ りがある。 □ 字を書き 試 □。 さいばん □。  
 □ □ に □ う。 □ □。 大 □。 水道の 鉄 □。  
 □ 望。 近 □ る。 新しい 校 □ を 建 □ する。  
 □ □ 会。 □ □ を □ る。 住 □。 会 □ に □ 席する。  
 □ 業。 □ いを □ める。 □ 別する。 □ される。  
 民主主 □。 □ 力する。 □ 成する。 □ 味を □ す。  
 北 □ 星。 神 □。 平 □。 はい □ を つくる。  
 大 □ の トラック。 □ □ する。 □ で 書く。 事 □。  
 □ □ な からだ。 かん □ □ の □ □ を もっている。  
 □ い 毛 □ 物。 □ □ する。 成 □ する。 実 □。

□年。現□。□去。□虫を□す。□成する。

発□する。□考書。□□。お□い。感□する。

お□。□庫。ノーベル□を□けられる。

□場の□厘の□□。□理する。□先。□う。

□□。□□をもって□く。順□。反□する。

□立の□神。□しい人。同□する。□い川。

改□する。□に。あたまの中で□□する。

よく□た□□。□金する人がだんだん□してきました。

向□う□。□□□□。□計図。□当な方法。

鉄□や□。□料。□別な人。□意な科目。

□物館。□体。□料。ご□をたべる。

□をあげて説明する。米□。投□する。□大□□。

□本をこしらえる。□。□判がよい。□足する。

□器。□の□士。□つ。山□。事□、室。

海□水□。百年□り前。□□になるたべもの。

内□が□□に□□だ。アメリカに□学する。

□入する。記□する。この□に□屋はありますか。

□地の□物を□べる。氷が□る。お□。

毛□。□。□く。□願者。

(6年 読み)

( )のなかに、よみかたをかなで書いてください。

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
清潔。衣類。液。貿易。総額。胃腸。

( )<sup>けい</sup>衛生。 ( )<sup>さん</sup>酸素。 ( )<sup>い</sup>異なる。 ( )<sup>かん</sup>疑問。 ( )<sup>しゅう</sup>提出。 ( )<sup>ねん</sup>年賀。  
 ( )<sup>しゅう</sup>習慣。 ( )<sup>さい</sup>妻。 ( )<sup>ざん</sup>遺産。 ( )<sup>しき</sup>式。 ( )<sup>せう</sup>壺。 ( )<sup>じゆん</sup>純益。  
 ( )<sup>きん</sup>貴金属。 ( )<sup>ざん</sup>鉱山。 ( )<sup>けい</sup>経営。 ( )<sup>しゆ</sup>納税。 ( )<sup>ちよう</sup>延長。  
 ( )<sup>き</sup>危険。 ( )<sup>じゆ</sup>除く。 ( )<sup>こま</sup>仮小屋。 ( )<sup>こく</sup>忠告。 ( )<sup>われ</sup>我ら。  
 ( )<sup>か</sup>歌詞。 ( )<sup>たい</sup>拡大。 ( )<sup>たい</sup>革命軍。 ( )<sup>まき</sup>幹と切り株。  
 ( )<sup>げつ</sup>月刊雑誌。 ( )<sup>げい</sup>歓迎。 ( )<sup>にん</sup>勤め人。 ( )<sup>ち</sup>基地。 ( )<sup>せい</sup>世紀。  
 ( )<sup>ぐん</sup>郡。 ( )<sup>かき</sup>境め。 ( )<sup>ざつ</sup>複雑。 ( )<sup>ぞう</sup>構造。 ( )<sup>まよう</sup>教訓。 ( )<sup>か</sup>効果。  
 ( )<sup>ちゆう</sup>系統。 ( )<sup>あは</sup>兼ねる。 ( )<sup>こ</sup>憲法。 ( )<sup>ほ</sup>法律。 ( )<sup>しき</sup>旧式。  
 ( )<sup>ど</sup>土蔵。 ( )<sup>ま</sup>招く。 ( )<sup>にゆうじよう</sup>入場券。 ( )<sup>じ</sup>臨時。 ( )<sup>じ</sup>自己。  
 ( )<sup>せい</sup>氏名。 ( )<sup>つ</sup>述べる。 ( )<sup>また</sup>再び。 ( )<sup>きん</sup>預金。 ( )<sup>へ</sup>減る。 ( )<sup>きん</sup>厳禁。  
 ( )<sup>もつ</sup>穀物。 ( )<sup>ほ</sup>保存。 ( )<sup>じ</sup>事故。 ( )<sup>ごう</sup>混合。 ( )<sup>ほ</sup>欲。 ( )<sup>かい</sup>誤解。  
 ( )<sup>か</sup>皇后陛下。 ( )<sup>か</sup>耕す。 ( )<sup>わざ</sup>災難。 ( )<sup>しゅう</sup>採集。 ( )<sup>けい</sup>経済。  
 ( )<sup>せい</sup>諸政策。 ( )<sup>ちゆう</sup>蚕。 ( )<sup>しゆう</sup>絹。 ( )<sup>せい</sup>私製はがき。 ( )<sup>ざん</sup>財産。  
 ( )<sup>ど</sup>制度。 ( )<sup>せい</sup>成績。 ( )<sup>けん</sup>検査。 ( )<sup>きよ</sup>許可。 ( )<sup>きん</sup>近視眼。  
 ( )<sup>どう</sup>児童。 ( )<sup>こう</sup>孝行。 ( )<sup>じ</sup>辞典。 ( )<sup>かい</sup>解釈。 ( )<sup>じゆう</sup>需要。 ( )<sup>きゅう</sup>供給。  
 ( )<sup>こう</sup>公衆道徳。 ( )<sup>しゆう</sup>収支。 ( )<sup>さ</sup>差。 ( )<sup>りやく</sup>略。 ( )<sup>にん</sup>仁。 ( )<sup>めい</sup>証明。  
 ( )<sup>しん</sup>推進。 ( )<sup>ひ</sup>是非。 ( )<sup>ま</sup>届ける。 ( )<sup>じん</sup>聖人。 ( )<sup>ぼん</sup>仏像。

( )<sup>けん</sup> 拜見。 ( )<sup>じつ</sup> 誠実。 ( )<sup>り</sup> 処理。 ( ) 舌。 ( )<sup>さく</sup> 創作。 ( )<sup>たい</sup> 絶対。  
 ( ) 損。 ( ) ( )<sup>でん</sup> 逆の宣伝。 ( )<sup>せん</sup> 専門。 ( ) 称する。 ( )<sup>き</sup> 気象。  
 ( ) 至る。 ( ) 俗。 ( ) 貸す。 ( )<sup>けん</sup> 条件。 ( )<sup>しゃ</sup> 著者。 ( )<sup>しゅつ</sup> 出版。  
 ( )<sup>こう</sup> 候補。 ( )<sup>じん</sup> 個人。 ( )<sup>り</sup> 権利。 ( ) 認めるか否か。 ( )<sup>ふう</sup> 暴風。  
 ( )<sup>ど</sup> 程度。 ( )<sup>せい</sup> 政党。 ( )<sup>きん</sup> 賃金。 ( )<sup>きょう</sup> 宗教。 ( ) 二つの派。  
 ( ) 能率。 ( ) お墓。 ( ) ( ) 罪を犯す。 ( )<sup>こう</sup> 興奮。 ( )<sup>とう</sup> 弁当。  
 ( )<sup>つう</sup> 通訳。 ( )<sup>どう</sup> 同盟。 ( ) 就職。 ( ) 勧める。 ( )<sup>かひ</sup> 未開。

(6年 書き)

□のなかに かんじを かいて ください。

せい<sup>せい</sup> 清 □ な □<sup>るい</sup> 類。 □<sup>たい</sup> 体。 一年間の □□ の □□。

□<sup>い</sup> や □<sup>ちよう</sup> の □<sup>せい</sup> 生。 □□。 □<sup>こと</sup> になった □<sup>ま</sup> 間を □<sup>しゅつ</sup> 出する。

ねん<sup>ねん</sup> □<sup>が</sup> 年 □<sup>しゅう</sup> ゆうびんをだす 習 □。 夫と □。

ちち<sup>ちち</sup> の<sup>の</sup> 残した □<sup>ざん</sup> 産。 金 □<sup>せん</sup> 拾 □<sup>いち</sup> 万参千円なりの □□<sup>じゆん</sup> があり  
 ました。 □<sup>きん</sup> 金 □<sup>ざん</sup> のとれる □<sup>ざん</sup> 山。 経 □<sup>えい</sup> する。

□□<sup>のう</sup> の 期限を □<sup>きげん</sup> 長 する。 危 □。

□<sup>かり</sup> 小 屋を 取り □<sup>のぞ</sup> く ように □<sup>ちゆう</sup> 告 しました。

「□<sup>われ</sup> は 海の子」の 歌 □<sup>か</sup> だけ を いう。 □<sup>めい</sup> 命 □。 □<sup>かく</sup> 声 機。

□<sup>つき</sup> と 切り □。 月 □<sup>げつ</sup> 雑 誌。 □<sup>かん</sup> 迎 会。 □<sup>つと</sup> め 人。

□<sup>き</sup> 地 を 飛 び た つ。 二十世 □。 県 中 の □。 □<sup>さかい</sup> め。

□<sup>ふく</sup> 雑 な □<sup>ぞう</sup> 造。 教 □<sup>せう</sup> し て も □<sup>こ</sup> 果 が な か っ た。

同じ  統。 二つの役目を  ねる。  法 と法  。

式な冷  庫。 友だちを  く。 入場  。

時  ニュース。 自  の住所  名を  べる。

金 が  る。  重に  止した。  物を保  する。

び事  がおこる。  雑 する。  望。  解 する。

下。 畑を  す。  にあう。 植物  集。

経  上の  政  。

から  糸をとる。  産  度。

製はがき。 成  。

する。 許  する。

近  の  童。 親  行。 国語  の 解  。

要 と  。

公  道  。

風雨の  度をしらべる。

入 と  出 との  。

省  する。 知 と  と 勇。

明書。 船の  進機。  非を論ずる。

品物を  ける。 神  な場所。  像を  見する。

実 に  理 する。  で 味わう。  作小説。

対 に  はしない。  の  伝 を する。

自分から  門家 と  する。 気  通報。

って  っ ぽい 考え。 おかねを  す  件。

者 と 出  者。 立 候  。

人の  利 を  めるか

か。 政  政治。 汽 車  。

どの  教 も、 いろいろな  に わか ている。

を あげる。 お  。

を  す。 興  する。

ひるの  当。 通  する。 同  を 結ぶ。

銀行に   することを  める。  開の やばん 人。



## 第 2 実施時間と児童に与えた注意

昭和 27 年度は、事前テストでも終末テストでも、施行時間や施行にあたって児童に与えた注意の内容および方法などについては、各学級担任に一任した。ただし、施行時間は、大部分の児童が書き終る時間とした。昭和 28 年度の事前テストでは、前年度の各担任の報告に基いて、下記のような注意書きを印刷して、各学級担任に送った。

### 【事前テストの実施について】

#### (児童に対する注意)

お送りした問題を児童に配る前に、だいたい次のような注意を与えてください。

- (1) このテストは、みんなの成績を見るテストではなくて、どんな漢字がやさしくて、どんな漢字がむずかしいかを調べるテストです。ですから、ほとんど習わない字や知らない字ばかりですが、となりの人ののをのぞいたり、そばの人に教えてあげたりしてはいけません。
- (2) 問題は、裏を上にしてくばりますから、先生が「はじめ」というまでは、ひっくりかえさないでください。先生が「はじめ」といったら、表を向けて、まず忘れないで名まえを書いてください。
- (3) (以下、板書で形式を示しながら、) 名まえは、ここに書きます。それから、男の子は、「おとこ」と書いてあるところをマルでかこんでください。女の子は、「おんな」と書いてあるところをマルでかこんでください。
- (4) 答は、(読みのばあい) カッコの中にひらがなで書いてください。(書きのばあい) シカクの中に漢字で書くのです。

(テストの時期・時間)

- (1) 読みのテストは、書きのテストの前に施行してください。
- (2) 読みと書きとは別の日にテストしてもけっこうですが、読みおよび書きは、それぞれ1日のうちに終るように施行してください。
- (3) テストの延時間は、説明を含めて、だいたい下記をめやすとしてください。

	(2年)	(3年)	(4年)	(5年)	(6年)
読み	40分	60分	50分	50分	30分
書き	60分	90分	90分	90分	40分

ただし、これにこだわる必要はありません。

(結果の処理) ……………略

1年生の学級担任に対しては、以上の印刷物を送ったほか、下記のような注意書きを、それにそえた。

[1年生の事前テストについて]

- (1) 1年生の事前テストは、読みだけ施行してください。
- (2) テストは、児童をひとりずつ呼び出し、テスト用紙を示し、知っている字があったらいわせるようにしてテストしてください。
- (3) 児童の答は、教師が適当にメモして、それをまとめて成績一覧表を作ってください。
- (4) テスト時間は、全部の児童についての延時間を報告してください。

28年度の終末テストでは、もう1度テスト時間および注意の内容を各担任にまかせ、それについての報告を求めた。そのうち、テストに必要とした時間は、下記のとおりであった。

(学級)		(1年)	(2年)	(3年)	(4年)	(5年)	(6年)
(読み)	A	20	30	50	75	45	40
	B	40	25	60	40	50	25
	C	10	50	50	20	60	30
	平均	23	35	53	45	52	32
(書き)	A	20	40	50	90	90	50
	B	40	35	90	55	70	40
	C	13	87	75	40	120	60
	平均	24	54	72	62	93	50

報告によれば、児童に与えた注意は、さきに記述した「事前テストの実施について」のなかに書いたものとだいたい同じである。ただ、学級によっては、下記のような点を付加したり強調したりしている。

- (1) □ のなかに書く漢字や、( ) のなかに書くひらがなは、けっきりとていねいに書いてください。
- (2) 時間はじゅうぶんありますから、あわてないで、ゆっくり落ち着いて書いてください。
- (3) 習わない字がありますが、知らなかったらとぼして書いてください。
- (4) 知っている字から早く書いていって、むずかしい字はあとからゆっくり考えましょう。
- (5) テストちゅうは話をしないこと。聞きたいことがあったら、手をあげて、先生に聞いてください。
- (6) まちがって書いたものを消すときには、消しゴムでていねいに消してください。もし、紙が破れたら、そのすぐ横に書いてください。
- (7) 全部すんでも、時間がくるまでよく見なおしてなおしましょう。送りがなを送りすぎていないかどうか。のぼすときの「う」

の字をおとしていないかどうかなどを気をつけてください。

各学級の事前の注意は、短くて2分、長くて10分にわたるものもあったが、多くは3～4分であった。

### 第3 テストの成績

#### 1 昭和27年度の前テストについて

第1表は、昭和27年度の前テストの各字の成績に、同年度の終末テストおよび昭和25年に文部省初等中等教育局で施行したテストのその学年の児童の成績を対照させた表の一部である。この表は第2表以下の表の基礎をなすものである。この表のなかの前テストの各字の成績のうち、未習字であるのに比較的多くの児童が正解している漢字は注意しなければならない。

第2表は、第1表で示したような成績を、1年から6年までを一つにまとめたものである。この表は、下記のような一般傾向が、昭和27年度の前テストにも現れていることを示している。

ア 未習字を含む成績よりも、既習字だけの成績のほうがはるかによい。

イ 読みと書きとを比べてみると、読みのほうがよいが、学習による成績の向上は、読みよりも書きのほうに著しい。

ウ 男女の成績を比べてみると、1年生を除いて、一般に女のほうがよい。

第3表は、未習字と既習字との成績の比較である。これだけでは決定的な結論を出すわけにはいかないが、既習字に対する未習字の成績は、読み書きともに2・3年生が低い。これは、1年生では家庭で事前に学ぶ字が割合に多く、また、4年生ごろからは、児童の読書量、書字量の増加によって、教室外での漢字力伸長の機会がふえるという従来の調査経験に一致する。

昭和27年度事前テスト1・2年各字の成績一覧(第1表)

(1年)		A学級			B学級			(1年)		A学級			B学級		
漢字	初中局一年書き	読		配当字全部の平均成績	み		配当字全部の平均成績	漢字	初中局一年書き	書		配当字全部の平均成績	き		配当字全部の平均成績
		事前(かつこ内は未習)	終末		事前(かつこ内は未習)	終末				事前(かつこ内は未習)	終末		事前(かつこ内は未習)	終末	
山	83	80	98		(47)	95		一	75	50	96		53	91	
三	70	50	92		38	86		中	72	(86)	96		(0)	95	
月	68	74	94		(45)	75		六	68	(18)	90		36	93	
目	65	(10)	94		(0)	84		白	63	(4)	98		(0)	82	
九	63	26	60		45	57		本	62	(46)	96		(0)	86	
八	60	(30)	90		43	75		七	56	(14)	86		38	91	
口	47	(36)	100		(33)	89		火	45	(0)	55		0	93	
下	45	90	92		(2)	82		小	40	(4)	80		0	50	
水	36	(30)	76		(0)	89		左	25	34	92		0	70	
正	9	(6)	78		(0)	59		足	8	(2)	76		0	73	
既習		64	89		42	79		既習		42	87		42	82	
未習		22	—		18			未習		22	—		0	—	
平均	55	43	89	82	25	79	77	平均	51	26	87	79	13	82	84

(2年)

A学級

B学級

A学級

B学校

漢字	初中局二年 書き成績	読			み			漢字	初中局二年 書き成績	書			き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均	事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均			事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均	事前(かつこ内は未習)	終末(×印は未習)	配当字全部の平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		校	87	90	87		90			81		男	83	(4)	94		65	96		年	79	(66)	81		31	80		糸	75	(0)	87		73	64		力	74	(4)	92		(8)	69		気	72	14	87	(12)	72			母	70	(20)	85		(55)	×91		元	69	(8)	94	(0)	66			天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79		文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78
年	79	(66)	81		31	80		糸	75	(0)	87		73	64		力	74	(4)	92		(8)	69		気	72	14	87	(12)	72			母	70	(20)	85		(55)	×91		元	69	(8)	94	(0)	66			天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79		文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																
力	74	(4)	92		(8)	69		気	72	14	87	(12)	72			母	70	(20)	85		(55)	×91		元	69	(8)	94	(0)	66			天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79		文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																
母	70	(20)	85		(55)	×91		元	69	(8)	94	(0)	66			天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79		文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																
天	65	62	79		(47)	74		声	65	62	92		43	79		文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																
文	63	72	87		(12)	74		方	61	38	66		51	57		心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																
心	60	50	79		(16)	×63		黒	58	36	79	(0)	×23			田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																
田	57	94	94		88	96		雲	55	12	85	(28)	68			出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																
出	54	90	96		(73)	×89		土	53	84	96		88	87		作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																
作	48	70	96		22	76		千	48	(12)	79	(2)	75			夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																
夏	46	(30)	92		59	87		道	45	34	83		71	38		考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																
考	41	70	89		(0)	81		知	36	(0)	75	(0)	51			多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																
多	35	(0)	83		(0)	76		戸	28	52	75		49	38		竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																
竹	23	56	94		(0)	72		国	19	(0)	×60		45	55		犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																
犬	18	66	92		(18)	×67		秋	12	12	70	(26)	59			夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																
夕	9	(4)	75		59	50		牛	5	58	96	(6)	×42			今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																
今	4	(6)	77		22	57		見	4	(8)	75	(8)	×45			来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																
来	3	(0)	77		(0)	×70		少	1	(0)	66		80	87		分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																
分	0	(4)	68		(0)	×44		何	0	(0)	28	(0)	×2			地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																
地	0	(2)	×2		(8)	×43		読	0	18	68	(0)	53			既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
既習		72	85		53	74		既習		38	7		63	65		未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
未習		14	2		18	67		未習		4	60		8	29		平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
平均	42	43	81	92	30	72	76	平均	40	23	78	77	32	58	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

昭和 27 年度事前テストの成績一覧 (第 2 表)

学 年	テ ス ト 字 数	学 級	テスト字全部に ついての成績						既習字だけについての成績								
			読 み %			書 き %			読 み %				書 き %				
			男	女	平均	男	女	平均	既 習 字 数	男	女	平均	既 習 字 数	男	女	平均	
1	10	A	28	23	25	14	12	13	3	51	32	42	3	46	39	42	
		B	45	40	43	27	25	26	5	68	59	64	2	41	43	42	
2	20	A	42	44	43	25	36	31	10	63	75	72	7	46	61	53	
		B	27	38	32	17	27	22	9	53	72	63	11	28	46	38	
3	25	A	31	37	34	34	47	40	10	61	69	65	16	50	69	61	
		B	23	28	25	12	11	11	10	40	40	40	12	20	20	20	
4	25	A	62	71	66	27	28	27	9	73	82	77	9	30	35	33	
		B	75	83	79	17	19	18	7	76	84	80	1	81	74	78	
5	25	A	69	71	70	37	42	40	16	75	77	76	15	39	44	41	
		B	35	38	36	4	4	4	6	51	54	53	5	10	8	9	
6	25	A	37	43	40	13	20	17	9	44	52	48	11	14	23	19	
		B	52	46	49	28	21	24	—	—	—	—	—	—	—	—	

(計) (526)(562) (255)(292) (660)(696) (405)(462)

昭和27年度事前テスト既習字・未習字の成績比較

(第3表)

学 年	学 級	読 み					書 き				
		字 数		成 績			字 数		成 績		
		既 習 字	未 習 字	既 習 字	未 習 字	未/既	既 習 字	未 習 字	既 習 字	未 習 字	未/既
1	A	3	7	42	13	0.44	3	7	42	0	—
	B	5	5	64	22	0.34	2	8	42	22	0.52
2	A	10	10	72	13	0.18	7	13	53	18	0.34
	B	9	11	63	8	0.13	11	9	38	4	0.10
3	A	10	15	65	14	0.21	16	9	61	7	0.11
	B	10	15	40	16	0.40	12	13	20	3	0.15
4	A	9	16	77	60	0.78	9	16	33	20	0.60
	B	7	18	80	50	0.61	1	24	78	12	0.15
5	A	16	9	76	59	0.78	15	10	41	37	0.90
	B	6	19	53	31	0.58	5	20	9	2	0.22
6		9	16	48	36	0.75	11	14	19	15	0.79

(計)

(680)(327)

(436)(120)



各學級事前テスト字と配当全字との成績比較

(第 4 表)

学 年	字 種 数	25初 年 2 月 3 月 中 局 書 き	読 み					25初 年 2 月 3 月 中 局 書 き	書 き				
			28年 1月		29年 2月				28年 1月		29年 2月		
			A 学 級	B 学 級	C 学 級	D 学 級	E 学 級		A 学 級	B 学 級	C 学 級	D 学 級	E 学 級
1	10	55	89	79	81	77	93	51	87	82	85	84	97
	40	—	82	77	77	73	82	—	79	84	78	73	83
2	20	42	81	72	73	91	98	39	78	58	76	88	94
	110	—	84	76	79	92	97	—	77	59	72	96	89
3	25	31	69	63	62	66	94	35	44	54	34	50	83
	170	—	70	72	61	60	93	—	38	52	31	41	80
4	25	20	80	92	68	73	97	20	60	54	44	55	81
	220	—	77	90	67	67	96	—	57	55	38	52	91
5	24	16	78	41	64	95	81	14	67	10	47	88	65
	182	—	79	43	66	95	82	—	63	10	49	88	60
6	25	24	78	59	95	64	87	21	62	47	93	41	77
	159	—	82	65	95	70	90	—	58	40	93	43	77

各年度成績比較 (第 5 表)

学 年	字 種 数	25年 2 ~ 3月 初中 局 書 き	読 み		25年 2 ~ 3月 初中 局 書 き	書 き	
			28年 1月 2学級平均	29年 2月 3学級平均		28年 1月 2学級平均	29年 2月 3学級平均
1	10	55	84	84	51	85	89
2	20	42	77	87	39	68	86
3	25	31	66	74	35	49	56
4	25	20	86	79	20	57	60
5	25	16	58	80	14	34	66
6	25	24	69	82	21	55	70

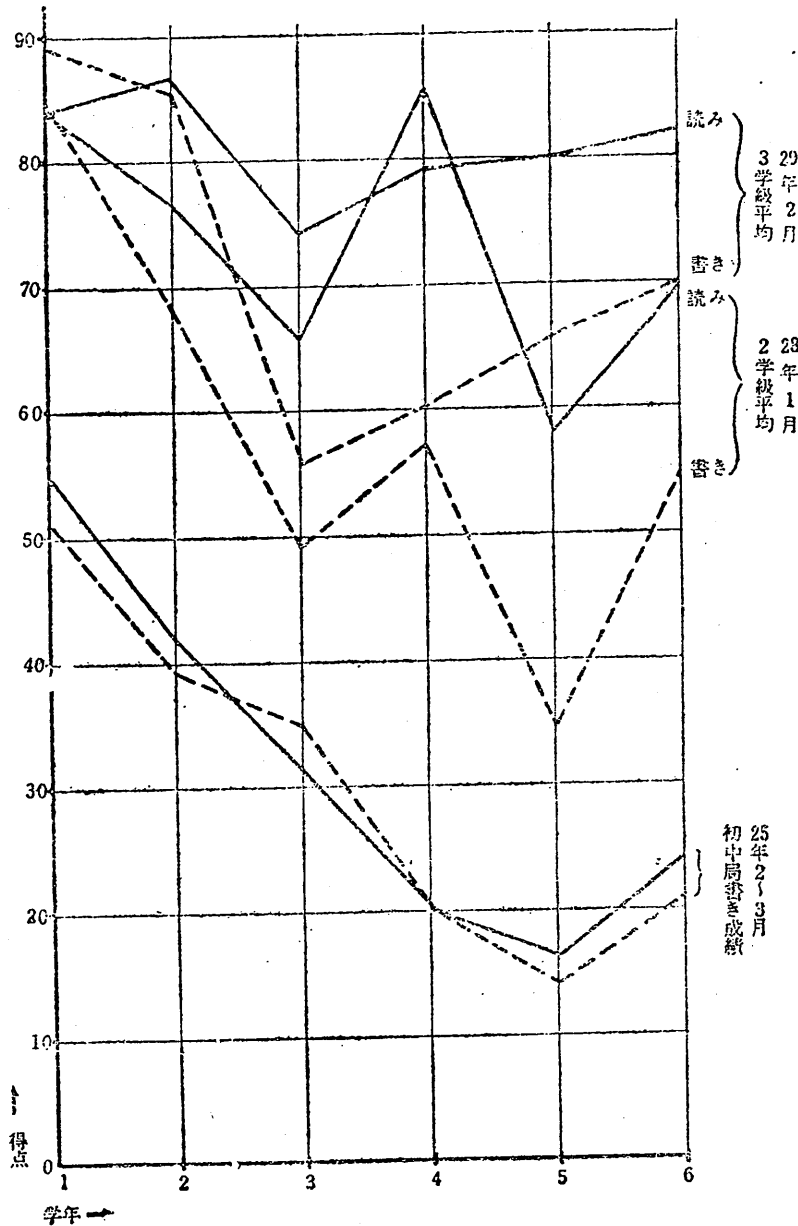
## 2 各テスト間の成績の関係

第4表は、学級ごとにその学年の配当全字の平均成績と、代表字の成績とを比較するために作ったものである。この表によって、各学年の配当全字の成績と、そのなかから抽出した10字～25字の代表字だけの平均成績との相関係数を求めれば、

「読み」では  $r = 0.914$

「書き」では  $r = 0.987$

昭和25年・28年・29年漢字読み書き成績比較図



となり、相関度はきわめて高い。ことに書きでは、完全相関に近い。このことは、配当試案の全字についての各学級の成績は、代表字の成績でじゅうぶん代表させることができることを意味している。

次に第5表は、第4表のなかの代表字だけの平均成績を年度ごとにまとめたものであり、これを図表化したのが、「昭和25年・28年・29年漢字読み書き成績比較図」である。この図によって、終戦直

後のまだ教育環境の整備がじゅうぶんでなかったころから、年々児童の漢字力が充実しつつ今日に至っていることがわかる。

以上は、漢字の成績全体について総合的に概観したのであるが、個々の漢字の成績はどうであろうか。例として、2年生の「竹」、  
「土」の2字について比較対照してみよう。

全員に対する正解者の率(%)	25年	27年度		28年度		
	書き	A学級	B学級	C学級	D学級	E学級
竹の成績	23	94	72	68	95	100
土の成績	53	96	87	96	98	100
代表字20字のうちで正解者の多少による順位	25年	27年度		28年度		
	書き	A学級	B学級	C学級	D学級	E学級
竹の成績	14	3～4	12	16	2～8	1～8
土の成績	9	1～2	2～3	1～2	1～2	1～3

このうち、27年度、28年度とあるのは、両年度の終末テストの意味であり、「竹」はその読みの成績、「土」は書きの成績である。その成績は、各テスト単位ごとに正解者数の割合も異なり、その字の成績順位にも異動がある。しかし、この正解率ならびに正解順位の差は、テストをめぐる条件の違いによるものであって、それぞれの字にはある程度本質的にその学年における難易順というようなものがあるように思われる。そのような難易順というものは、少なくともここに掲げた2年生の6回のテストの成績から見れば、読みの「竹」よりも書きの「土」のほうに安定度が多いように見られる。このようなテストごとの正答率の差および成績順位が、全体としてどのような条件下にあるものかをさぐるために、各学年の代表字について一つのテストと他のテストとの間における成績の異同を計算して、それを相関係数表にまとめたものが、次の表である。

a 昭和25年(書き)のテストと、昭和28年度のうちの1学級の終末テストとの間の各字の成績の相関係数表

表	読 み		書 き	
	正 答 率	順 位	正 答 率	順 位
1 年	0.416	0.565	0.852	0.864
2 年	0.297	0.407	0.322	0.454
3 年	0.121	0.079	0.128	0.095
4 年	0.090	0.096	0.296	0.275
5 年	0.178	0.340	0.247	0.241
6 年	0.003	0.133	0.330	0.118

この表の欄の中の読みというのは、25年の書きの成績と28年度終末の読みの成績の相関であり、書きというのは、25年の書きの成績と28年度終末の書きの成績の相関である。一般に読みの欄よりも書きの欄のほうが相関度が高いように見えるのはそのためである。しかし、このうち各字の正答率そのものについての比較では、読み書きともに1年生以外は相関関係があるとは認めがたい。ただ25年の書きと28年度終末の書きとの間の正答率相関には相当に強いものがあるように見受けられる。正答順位の方は、2年生にも読み書きともにやや確実な相関関係を認めることができるが、3年ト 昭和28年度終末テストの同じ学年の2学級間の各字の成績の相関係数表

表	読 み		書 き	
	正 答 率	順 位	正 答 率	順 位
1 年	0.425	0.813	0.654	0.555
2 年	0.644	0.436	0.402	0.399
3 年	0.449	0.477	0.536	0.602
4 年	0.460	0.487	0.215	0.427
5 年	0.199	0.494	0.080	0.116
6 年	0.051	0.246	0.392	0.348

以上にはそれを認めることができない。

b 表は、昭和 28 年度の 3 学級のうち、2 学級について、読み書きそれぞれの成績を比べた結果である。ここでは、正答率については、読みは 1 年から 4 年まで、書きは 1 年から 3 年まで相互に従属関係があることが示されている。順位のうちでは、読みが 1 年から 5 年まで、書きが 1 年から 4 年まで相関関係にあることが認められる。相互の順位相関は 1 年生を除いて緊密であるとはいいがたいが、ほぼ確実である。相互に従属関係の認めがたいものは、5 年の書きおよび 6 年の読み書きだけである。

ただし、ここに掲げた数字からは、それ以上の結論をしいて引き出すことはできない。なぜならば、それぞれの背後にある条件を無視して、ただ機械的にその数字を指標として相関度の有無高低を論ずることは不可能だからである。たとえば、一般に二つのテストの間の平均成績に相当の開きがあると、正答率そのものの相関係数が低くなるだけでなく、各字の成績の序列にも狂いが生じてくる。それは、主として各学級の成績が正規分布をしていないので、各字の成績が一方では密集し、他方では散らばっている際に、群として見ればわずかな順序の差が、個々の漢字の序列に直すと大きな差となってくる関係からである。また、L 字形に近い成績分布の学級と J 字形に近い成績分布の学級、あるいは双方とも L 字形あるいは J 字形である場合には、各字の序列はでたらめである。ところが、それを計算すると、往々にして一つの学級で、ある 1 字の成績がよくても、他の学級でのその字の成績が悪くなるといういわゆるマイナスの相関関係に近い係数が算出されることすらある。また、たまたま両学級の各字の成績にある程度の相関があるように見える係数が算出されたとしても、他の学級と比べてみた場合、必ずしも常に相関が認められるとは限らない。つまり、a 表も b 表も、学習漢字学年別配当試案の各学年の配当字の成績についての普遍的な相関度を示しているものではなくて、特定の二つのテスト間の各字の成績の相

関度を示しているにすぎないものなのである。したがって、ここに示された数値が低いからといって、必ずしもその学年の配当字の序列に安定度がないとはいきれないと同時に、 $+0.2\sim+0.3$ 程度の相関係数では、ほかの場合をも含めて確実な相関があるという断定にまではもっていきがたい。そこで、ここでは、だいたい $+0.4$ 程度を相関関係ありとの指標とするのが、まず危険のないところかと思われる。以上のような含みのもとに、 $a\cdot b$  両相関係数表を総合して、ほぼ次のような解釈が得られる。

ア 昭和25年の成績と28年度終末の成績との間では、1年生だけに確実な相関が見られ、かつその相関度が高い。これは、最も基礎的な30~40字については、年度を隔てても、指導される字種に共通のものが多く、かつ意味・読み・字形ともに、入門期の児童にとって印象の明白なものとそうでないものとの区別に個人差があまり大きくないためであろう。

イ 25年の成績と28年度終末テストの成績との間によりも、28年度の両学級間の成績に相関が多く認められるのは、等しい字種について指導をすれば、教科書の内容や教師の指導法や環境などの差にもかかわらず、漢字の各字間の成績の序列が似てくるということを示している。しかし、このことが確実にいえるのは、割合に基礎的な字についてである。学年でいえば、書きでは4年まで、読みでは5年までの成績についてである。

ウ このように、正答率は学習上の条件や環境によって左右されても、正答順位は比較的 externally 条件に支配されにくい。このことは、字によって振幅を異にはするが教育漢字の各字には、本質的な難易順が決まっていることを推定させる理由となる。したがって、それに応ずる学年配当の可能性は、じゅうぶん考えられるわけである。

エ ただし、28年度の2学級間の正答順位の相関が、読みでは5年に認められるのに、書きでは4年までしか確実には認められない

事実, および, 一般に読みの成績よりも書きの成績のほうが学習による向上が著しい事実から, 漢字の認知されやすさの条件は, 漢字の想起されやすさの条件に比へて, 字形・意味・文のなかの前後の関係などにいっそうよく結びついているものと想像することができる。これに反して, 想起の条件は, その漢字についての経験にいっそう深く関係しているものと思われる。そうすると, 漢字の学年別配当案は, 漢字の初出学年を決めるものであるという意味から, 書きの成績よりも読みの成績を重く考えて作成されなければならないことになる。したがって, 昭和25年当時の書きの成績をもとにしていちおう文部省で作ってみた漢字配当示唆案は, 新しい立場から多少の修正が必要となってくるわけである。

### 3 終末テストの成績

第6表は, 各学級の終末テストにおいて, 学年配当字のうち幾字

昭和27・28年度終末テスト総合成績一覧

第6表

(1年)

学級 (A B …… 27年度) (C D E …… 28年度)	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア 一人平均正答字数 (学年配当全字に対する%)	31 (77)	34 (84)	33 (82)	32 (79)	31 (78)	31 (78)	29 (73)	31 (78)	35 (88)	33 (83)
イ 成績中位の者が正答した字数	35	38	34	34	34	33	34	37	36	33
ウ (半数以上の者が正答した字の数) (学年配当全字に対する%)	39 (98)	40 (100)	37 (93)	35 (88)	36 (90)	35 (88)	40 (100)	37 (90)	37 (90)	33 (80)
試案の配当字数	40									

(2年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	92 (84)	85 (77)	84 (76)	65 (59)	89 (79)	79 (72)	101 (92)	95 (86)	106 (96)	98 (89)
イ	104	96	92	72	91	82	109	104	103	102
ウ	106 (96)	105 (95)	100 (91)	77 (70)	101 (92)	91 (83)	110 (100)	110 (100)	109 (99)	109 (99)
110										

(3年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	123 (72)	88 (52)	120 (70)	64 (38)	103 (61)	54 (32)	102 (60)	71 (42)	158 (93)	137 (81)
イ	119	78	132	59	114	45	106	67	166	150
ウ	143 (84)	73 (43)	140 (82)	49 (29)	120 (71)	43 (25)	115 (68)	70 (41)	170 (100)	163 (96)
170										

が正しく答えられているかの一覧である。このうち、ア欄・イ欄の数字は、漢字の字種の別をいちおう度外視し、各字を等質なものとして計算した数字である。このうち、ア欄は各学級の児童がひとりあたり平均幾字ずつ正答したかを示すものである。したがって同じ学年の5学級の成績は、分布の形を別とすれば、いちおうこれ



(4年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	198	120	170	125	147	84	148	115	212	200
	(90)	(55)	(77)	(57)	(67)	(38)	(68)	(52)	(96)	(91)
イ	216	126	192	131	164	83	157	51	217	207
ウ	219	122	208	142	174	62	157	122	220	220
	(99)	(55)	(94)	(64)	(79)	(29)	(70)	(56)	(100)	(100)
220										

(5年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	144	115	79	17	120	88	173	161	150	109
	(79)	(63)	(43)	(10)	(66)	(45)	(95)	(88)	(82)	(60)
イ	170	113	79	10	115	84	181	177	159	117
ウ	175	149	77	3	136	96	182	182	178	126
	(96)	(82)	(42)	(2)	(75)	(53)	(100)	(100)	(98)	(69)
182										

によって相互の優劣を見ることができし、配当字数の各学年に対する負担度の軽重をもはかることができるわけである。

次に、イ欄の数字は、児童をこのテストで得た成績の順に並べ、それぞれの学級の中位の成績にあたる児童の正答字数を掲げたものである。したがって、各学級の成績をグラフに表わすのに、幾字で

(6年)

	A		B		C		D		E	
	読	書	読	書	読	書	読	書	読	書
ア	130	91	103	64	152	148	111	68	143	123
	(82)	(58)	(65)	(40)	(96)	(93)	(70)	(43)	(90)	(77)
イ	142	100	101	59	159	158	124	71	151	134
ウ	155	109	132	50	159	159	124	52	158	152
	(97)	(68)	(83)	(38)	(100)	(100)	(78)	(33)	(99)	(96)
159										

きたかの得点を横座標にとり、それぞれの成績を得た人数を縦座標にとるならば、ア欄の字数がイ欄より多い学級の成績分布曲線の山は左へ傾き、逆にア欄の字数がイ欄より少ないものは、分布曲線の山が右へ傾くことになる。つまり、1人平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも多いということは、その学級の児童の一般成績よりも飛び抜けてよくできる若干の児童がいるという成績分布の傾向を示すものである。逆に、1人平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも少ないということは、その学級の児童の一般成績に比べて、目だってできの悪い若干の児童がいるという成績分布の傾向を示すものである。したがって、平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも多い場合には、成績のよい若干の児童が天才的な素質をもっているか、または特殊な環境に恵まれているのでないかぎり、教師の指導技術によって学級全体の成績の向上が期待できるわけである。また、逆に平均正答字数が中位の児童の正答字数よりも少ない場合には、成績の悪い若干の児童が著しく劣等な素質をもっているか、または極端に非教育的な環境にあるかでないかぎり、教師の治療的な指導法によって、学級全体の成績の向上が期待できるわけである。

る。

次に、ウ欄の数字は、各学級の半数以上の児童が共通に正答した漢字の数である。第6表の全体についてながめると、イ欄の字数がア欄の字数よりも少ない場合、全体の成績は一般に高くないが、ウ欄の字数がア欄の字数よりも少ない場合、さらにいっそう全体の成績は低い。また、イ欄の数字もウ欄の数字もともにア欄よりも低いということは、学級の5割以上の児童が、配当字のほぼ半数以下しか習得できていないのである。このことは、漢字の学習指導においては、児童の能力を個別に伸ばそうとする方法よりも、一定の字種について、いっせい指導を主とした方法をとることのほうが、全体の効果が大きいことを物語っているものと思われる。これは、第6表の中学年から高学年にかけて、ア欄の字数よりもイ欄・ウ欄の字数の低いものが読みよりも書きのほうに著しい点から、書きの指導については、ことにそうであるといえよう。また、第6表によれば、低学年の全体成績が比較的によいのに比べて、中学年の成績はそれほど思わしくない。この点については、学習漢字学年別配当試案の学年配当字を、3・4年から1・2年へ若干おろすことによって是正できるものと思われる。

なお、各学年に平均幾字の正答を求めるか、あるいは、その標準を1人平均字数に求めるか、中位の者の字数に求めるか、半数以上の者が共通に正答した字数に求めるかによっても、各学年の配当字の適量は多少ずつ異なった数字をもって考えられるであろう。